

『このくらいは・・・だいじょうぶだろう』
過信と油断は、事故のもと

『かもしれない』・・・を習慣にして
『事故ゼロ』に

事故を起こさないために
相手を思いやり、余裕をもった運転が大切です

忘れるな！ あの瞬間のヒヤリハット

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

《作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう》

信号交差点 信号待ち車に追突

追突された車は別の車に衝突

追突した車は対向車線にはみ出し

横断歩道を横切り、街路樹に突っ込む

追突した車運転の男性、意識不明の重体 車3台が絡む事故

◇『わき見運転』、『漫然運転』はせずに、危険意識を持って、『運転に集中』しましょう◇

◇ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2024/3/13(水)

12日午後2時40分ごろ、岐阜県の信号交差点で、乗用車が信号待ちをしていた車に追突し、はずみで追突された車が別の車にもぶつかりました。さらに、最初に追突した車は対向車線にはみ出し、横断歩道も突っ切って街路樹に突っ込みました。この車を運転していたのは59歳の男性で、病院に運ばれましたが意識不明の重体です。追突された車の運転手など、ほかにけが人はいませんでした。

信号交差点 右折の軽乗用車と直進の乗用車が衝突

さらに、後続の乗用車とも衝突

車3台が絡む事故、女性2人が病院に運ばれる

◇交差点の右折は・・・十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意しましょう◇

◇交差点 直進時は・・・右折車が「来るかもしれない」・・・注意しましょう◇

◇右折時は、対向車の陰に隠れた危険を予測しましょう◇

2024/3/12(火)

12日午前10時20分頃、宮城県の信号交差点で、乗用車2台と軽乗用車1台の合わせて3台が衝突する事故がありました。この事故で軽乗用車と乗用車に乗っていた女性2人が病院に運ばれ、うち1人は手を骨折した疑いがあるということです。警察によりますと、直進していた乗用車が、右折しようとしていた軽乗用車に衝突し、さらに後続の乗用車とも衝突したということです。

深夜12時 国道を歩いていた男性

軽乗用車にはねられ死亡

片側2車線の見通しの良い直線道路

信号機や横断歩道はありません

◇『深夜』、歩行者・自転車、が、「いるかもしれない」、かもしれない運転で事故防止◇

◇ヘッドライトをこまめに切り替え、遠目ライトで早期発見！ 事故防止◇

2024/3/12(火)

12日深夜12時ごろ、鹿児島県の国道を歩いていた会社員の男性(56)が走ってきた軽乗用車にはねられ、頭を強く打ち、約1時間後に死亡しました。現場は片側2車線の見通しの良い直線道路で信号機や横断歩道はありませんでした。警察は、軽乗用車を運転していた女性(73)から話を聞くなどして事故の原因を調べています。